

パンデミックの予防、備え及び対応（PPR）に関するWHOの新たな法的文書作成のための第10回政府間交渉会議（INB10）結果概要 （2024年7月16日～17日）（於:ジュネーブ）

令和6年(2024年)7月

外務省 国際保健戦略官室

1 会議の概要

※INB: Intergovernmental negotiating body

- 7月16日～17日にINB10会合が開催され、今後のINB交渉の進め方やスケジュールなどについて、議論が行われた(全て公開セッション)。
- INB執行部であるビューローメンバー(南アフリカ、オランダ、ブラジル、エジプト、タイ、日本)のうち、オランダからフランスへ、日本からオーストラリアへのメンバー交代が承認され、共同議長(2名)には、南アフリカ(継続)とフランス(新規・暫定)が就任した。
- 次回INB11会合は9月9日～20日に開催することを決定した。

2 日本の基本方針

- パンデミックの予防、備え及び対応(PPR)の強化のため、国際的な規範の強化は重要。
 - 交渉を通じて、本条約の内容をPPRの強化にとって真に意味のあるものとし、かつ、主要国を含む多くの国が合意できる普遍性を確保することが重要。
- 上記の観点から、本件交渉に引き続き建設的に参加、貢献していく。

3 今後の予定

2024年 9月9日～20日 INB11会合

2024年11月4日～15日 INB12会合

2024年内の特別総会に、又は、更なるINB会合開催の上で2025年の第78回WHO総会に、成果物を提出